Kontyu 2:53 Teranishi, C. 1927

因にこの温室は明治三十六年に設立されたものである。 〔5 April 1927〕

New localities for Polyergus samurai Yano.

サムライアリの新産地

寺西暢

本誌第一巻第二號に矢野理學士の報告が出た、私の標本の産地は、東京府下澁谷(大正六年七月)及奈良縣大峰山麓の洞川(同年七月二十四日)の二つ。此の外に標本は保存して居ないが、産する事の確なのは、岩手縣零石郡小岩井農場である。大正十年八月中旬、農場内の馬車鐵道の線路に沿ふて其の中を(此所は馬蹄によつて踏み躙られる部分で若し一度馬車が通れば直ちに無數の犧牲者を出さねばならぬ所)揚々として遠征の途にあつた此不思議な蟻の長蛇の如き列を見た。

それから私は友人佐藤覺君が採集して呉れた標本によつて、朝鮮の水原(大正十三年七月)及び金剛山(同年七月二十七日)を朝鮮に於ける此の種の最初の産地として附加する事の出來るのを喜ぶ。

ソラマメを害するウラナミシバミに就て

青木卯

大正十三年十二月上旬千葉縣安房郡七浦村大川橋本氏の栽培せる早生蠶豆に害蟲發生し被害大なりとの報告に接し、同月五日同地に至り幼蟲を採集し西ケ原農事試驗場にて飼育の結果ウラナミシバミなることを明かにせり。本種がフヂマメの害蟲なる事は既に知られ居る事なれども、ソラマメに斯く大害を及ぼすことは新しき事實なるが如きを以て茲に調査の概略を記す。

〔卵〕、卵は扁なる饅頭形をなし、中央部は凹陷す。全體淡綠色を呈し、表面には網目狀の隆起あり、各網絲の交叉點は他の部より著しく隆起す。中央は丸き點をなす。直徑 0.584, 0.516, 0.5007 平均 0.536m.m. なり。

〔幼蟲〕 背面穹狀に膨大し、前、後及兩側に稍長き毛を有す。頭部は小にして胸部の内に陰すことを得。脚は肉質にして甚小なり。體の色彩に二型あ